

公明党要望項目一覧

令和5年度6月補正分

要望項目	左に対する対応方針等																		
<p>○LPガス料金の負担軽減や子育て世帯への各種支援、子ども食堂への支援、医療機関や社会福祉施設、私立学校園等への光熱費支援など、県民生活や事業活動を支えるための支援策を講じること。</p>	<p>物価高騰・エネルギー高騰対策は特に急いで実行する必要があると考えており、LPガス料金軽減、医療機関・社会福祉施設・子ども食堂等への光熱費支援、売上・粗利が減少した事業者への投資支援など、総額30億円規模の「物価高騰等緊急対策」に加え、生活困窮世帯への光熱費追加支援、閑散時期の宿泊割引、食事クーポン、畜産飼料高騰支援など、県民生活や事業活動を支える支援策を6月補正予算で検討している。</p> <p>【6月補正】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">○物価高騰等緊急対策（全体）</td> <td style="text-align: right;">3,107,904千円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">・LPガス料金高騰対策支援事業</td> <td style="text-align: right;">450,000千円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">・物価高騰を乗り越える事業者支援事業</td> <td style="text-align: right;">1,000,000千円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">・医療・社会福祉・保育施設等物価高騰対策支援事業</td> <td style="text-align: right;">1,340,000千円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;"></td> <td style="text-align: right;">ほか</td> </tr> </table> <p>○上記以外の支援策</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">・生活困窮者光熱費等支援事業</td> <td style="text-align: right;">144,500千円</td> </tr> <tr> <td>・閑散期における観光需要喚起対策事業</td> <td style="text-align: right;">50,000千円</td> </tr> <tr> <td>・「食パラダイス鳥取県」お食事クーポン事業</td> <td style="text-align: right;">100,000千円</td> </tr> <tr> <td>・畜産経営緊急救済事業</td> <td style="text-align: right;">304,437千円</td> </tr> </table>	○物価高騰等緊急対策（全体）	3,107,904千円	・LPガス料金高騰対策支援事業	450,000千円	・物価高騰を乗り越える事業者支援事業	1,000,000千円	・医療・社会福祉・保育施設等物価高騰対策支援事業	1,340,000千円		ほか	・生活困窮者光熱費等支援事業	144,500千円	・閑散期における観光需要喚起対策事業	50,000千円	・「食パラダイス鳥取県」お食事クーポン事業	100,000千円	・畜産経営緊急救済事業	304,437千円
○物価高騰等緊急対策（全体）	3,107,904千円																		
・LPガス料金高騰対策支援事業	450,000千円																		
・物価高騰を乗り越える事業者支援事業	1,000,000千円																		
・医療・社会福祉・保育施設等物価高騰対策支援事業	1,340,000千円																		
	ほか																		
・生活困窮者光熱費等支援事業	144,500千円																		
・閑散期における観光需要喚起対策事業	50,000千円																		
・「食パラダイス鳥取県」お食事クーポン事業	100,000千円																		
・畜産経営緊急救済事業	304,437千円																		
<p>○近年、世界的規模でLGBTQ（性的マイノリティ）への差別や直面する困難を解消すべく、ジェンダーフリーを目指す取組が進められている。県内では先行して、境港市が同性パートナーシップ制度を導入している。本県においても、多様性や人権を尊重する社会が実現できるよう、一層の取組をすること。</p>	<p>本県では、人権施策基本方針の分野別施策の推進に性的マイノリティの人権を掲げ、教育・啓発の推進、相談体制の充実等を進めるとともに、カミングアウトすることに抵抗があるという当事者の声を踏まえ、宣誓を求めるパートナーシップ制度という形によることなく、事実婚と同様に行政サービスを提供する鳥取県独自の対応を行っているところであるが、これまでの取扱いを踏まえつつ、当事者それぞれの状況に寄り添い、より暮らしやすい社会にするための施策のあり方に係る研究を行うことについて、6月補正予算で検討している。</p> <p>【6月補正】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">・鳥取型多様な性を認め合う社会づくり研究事業</td> <td style="text-align: right;">500千円</td> </tr> </table>	・鳥取型多様な性を認め合う社会づくり研究事業	500千円																
・鳥取型多様な性を認め合う社会づくり研究事業	500千円																		
<p>○鳥取の砂浜を活用したビーチスポーツの振興を図るため、常設のトイレや足洗い場を備えたビーチバレー・ビーチテニスコートを整備すること。</p>	<p>鳥取の砂浜への専用コート設置については、まずは海水浴場の開設者である賀露みなど観光協会をはじめとする地元団体や鳥取市など関係者の意見に即しながら検討する。</p>																		

要望項目	左に対する対応方針等
○つえを利用する高齢者、身体障がい者の利便を図るため、県有施設のトイレ・行政窓口等に「つえホルダー」を設置すること。	各施設の利用者層や利用実態を調査した上で、必要性の高い施設・場所から「つえホルダー」の設置を進めていきたい。
○小児医療費助成については、県下全市町村での無料化を進めること。	<p>令和6年4月からの小児医療費を完全無償化することについて、令和5年5月18日の県・市町村行政懇談会で、市町村の合意が得られたことから、6月議会において関係条例や予算について提案する。</p> <p>【6月補正】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「シン・子育て王国とっとり」こどもの医療費無償化事業 8,000千円 <p>【6月議会付議案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県特別医療費助成条例の一部を改正する条例
○スギ・ヒノキの花粉症が大きな社会問題となっている。花粉の出ない樹種への転換を強力に推進すること。	<p>花粉の発生源となるスギ・ヒノキ林を皆伐し、花粉量が半分以下となるスギ・ヒノキの特定母樹による再生林の推進や、少花粉スギ・ヒノキの発芽率を向上させる研究推進について、6月補正予算で検討している。</p> <p>【6月補正】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花粉発生源対策促進事業 142,501千円
○再来年に「全国やきとリンピック」の誘致に向けて支援をすること。同時に、鳥取県ブランド地鶏・登録商標である「鳥取地どりピヨ」の消費拡大に繋げること。	<p>「全国やきとリンピック」の令和7年度の本県誘致については、「鳥取地どりピヨ」の消費拡大につながるように、関係する事業者や生産者の方々、商工団体及び市町村等の意見を伺いながら、どのような支援ができるのか検討していく。</p>
○昨年来、県東部での発注が減少してきている。今後速やかに公共工事発注を行うこと。またインフラ維持や防災等の工事発注も進んでいない。現場では予算不足を理由に挙げられているので、維持や防災等への予算も十分に確保されたい。	<p>県東部では国土交通省において志戸坂峠道路や南北線等の事業が計画されており、早期に着工されるよう関係機関と連携していくとともに、予算配分された県事業については速やかに工事発注を行うよう努めていく。</p> <p>本県のインフラ維持や防災等の工事については、「鳥取県国土強靱化地域計画」に基づき計画的に実施しているところであり、今後も国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等の予算を活用していくため、国に対して積極的な予算要求を行っていく。</p>
○鳥取砂丘コナン空港の次期コンセッションにおいては、地域振興・観光振興に資する「空の駅」化への取組を高く評価すること。	<p>コンセッション制度に基づいて民間事業者による空港運営を行うことで、民間事業者の新たな提案や創意工夫・利点が発揮され、鳥取砂丘コナン空港の更なる魅力の向上が図られることを期待している。地域の多様な主体と協働し、空港を拠点とした賑わいの創出、観光や地域経済の活性化を図る「空の駅」化を進めるため、鳥取砂丘コナン空港の次期コンセッションにおいては、地域振興・観光振興に資する「空の駅」化への取組についても評価していきたい。</p>

要望項目	左に対する対応方針等
<p>【個別要望】</p> <p>○一昨年7月の豪雨により、鳥取市六反田地内で道路冠水（水深約50cm）が発生している。浸水被害防止対策として、湖山川右岸堤防に排水樋門の設置を検討すること。</p>	<p>令和3年7月豪雨の際に発生した鳥取市六反田地内の道路冠水については、具体的な原因の特定に現時点至っていないが、県管理河川からの越水や逆流は報告されておらず、県管理外の排水管における機能不全の可能性が指摘されている。</p> <p>その上で、県においては令和4年度から同地内の浸水被害対策のため、湖山川河川改修工事を進めており、同工事の護岸改修の過程において、堤防の排水管の取り替え及び排水樋門を設置する予定としている。</p>